

税法 I

科目ナンバリング PUL-303
選択 2単位

西 聡

1. 授業の概要(ねらい)

租税は公共サービスの財源であるとともに、所得格差の是正、経済政策手段としての機能を有しています。学生の皆さんにとっては、消費税の負担に加え、いずれ所得税の納税者となり、また、起業、会社等に就職すれば、法人税ともかかわりを持つことになります。このように、税は国民の活動、生活に深くかかわっています。しかしながら、税を負担しながら、税の仕組みについて理解している方は多くありません。税法は専門的で技術的な規定が多く、毎年、改正されるため、難しいと感じることが原因の一つかと考えます。

税の細かい知識は必要はありません。必要に応じて、HPなどで確認すればよいと考えます。この授業では、我が国の主要な税目について、仕組み・概要を理解するとともに、制度趣旨・背景についても考えます。

2. 授業の到達目標

税についての基礎的な知識を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(50%)及び授業中に実施する小テスト(50%)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しません(pptをポータルサイトにアップ予定)

参考文献

図説日本の税制

税務大学校講本「税法入門」 財経詳報社

税務大学校 HP

5. 準備学修の内容

復習を目的に毎回、授業の冒頭、先週の授業に関する小テストを実施する予定です。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション・税の現状
- 【第2回】 租税の役割・機能
- 【第3回】 租税の基礎知識
- 【第4回】 租税の歴史
- 【第5回】 租税原則とあるべき税制
- 【第6回】 所得税1
- 【第7回】 所得税2
- 【第8回】 相続税・贈与税
- 【第9回】 法人税
- 【第10回】 消費税
- 【第11回】 その他の税金
- 【第12回】 国際課税—課税権の競合と二重課税の調整
- 【第13回】 国際課税—国際的租税回避への対応
- 【第14回】 予備
- 【第15回】 試験及び解説